

■ 検診(健診)一覧

検診項目	対象者	健診(検診)料	個人負担額	
			74歳まで	75歳以上
特定健診(推奨)	40~74歳の国保加入者	9,114円	1,500円	—
健康診査(推奨)	後期高齢者医療加入者	7,800円~10,000円	—	800円
胃がん検診(胃透視)	40歳以上	4,840円	1,000円	500円
腹部超音波検査		3,740円	1,000円	500円
肺がん検診(胸部レントゲン)		2,035円	500円	200円
大腸がん検診(検便)	2月実施予定です 先に大腸がん検診(検便) を受診してください。	1,799円	500円	200円
大腸がん検診(S状結腸内視鏡)		4,400円	1,500円	500円
子宮頸がん検診 ※女性のみ	20歳以上	5,170円	1,300円	500円
乳がん検診(エコー) ※女性のみ	30歳代	4,070円	1,500円	—
乳がん検診(マンモグラフィ) ※女性のみ	40歳以上	4,070円~6,050円	1,500円	500円
骨粗しょう症検査 ※女性のみ	30歳以上	1,980円	1,000円	300円
前立腺(PSA)検査 ※男性のみ	40歳以上	1,760円	500円	200円

結核検診もセットです

2月実施予定です
先に大腸がん検診(検便)
を受診してください。

個別検診 11月~2月実施予定(申込者には10月頃に案内を送付します) 会場: 町近隣の婦人科医療機関

子宮頸がん検診 ※女性のみ	20歳以上	6,710円	1,800円	700円
---------------	-------	--------	--------	------

※特定健診・健康診査は受診結果により、特定保健指導の案内通知や、町の保健師・管理栄養士が説明のために訪問することがあります。

申込方法

加入の健康保険・年齢に応じた検診の案内を郵送しています。受診希望の検診項目に○をつけ同封の返信用封筒に入れてご返送ください。

※国民健康保険と後期高齢者医療制度加入者は、4月に郵送しています。

※スマートフォンからも申し込みができます。

町国民健康保険に加入されている人▶



それ以外の健康保険の人▶



検診の日程と会場

- 検診日程 10月1日(日)~10月7日(土)
10月9日(月)~10月13日(金)
10月16日(月)~10月21日(土)
(S状結腸内視鏡検査のみ2月に実施予定)
11月には女性検診の日も設けています。
- 検診会場 町生涯学習センターなど

※受診当日に町に住居票がない人は受診できません。

町の健診(検診)を受診して健康ポイントを一気に貯めよう!

熊本健康アプリ「もっと健康!げんき!アップくまもと」をダウンロードしている人は、健診などでポイントが最大240ポイント貯まります。また、「大津元気づくり活動」の特別ポイントが、健診(検診)で2単位(50ポイント)貯まります。受診当日を、報告書(紫色)を持ってきてください。

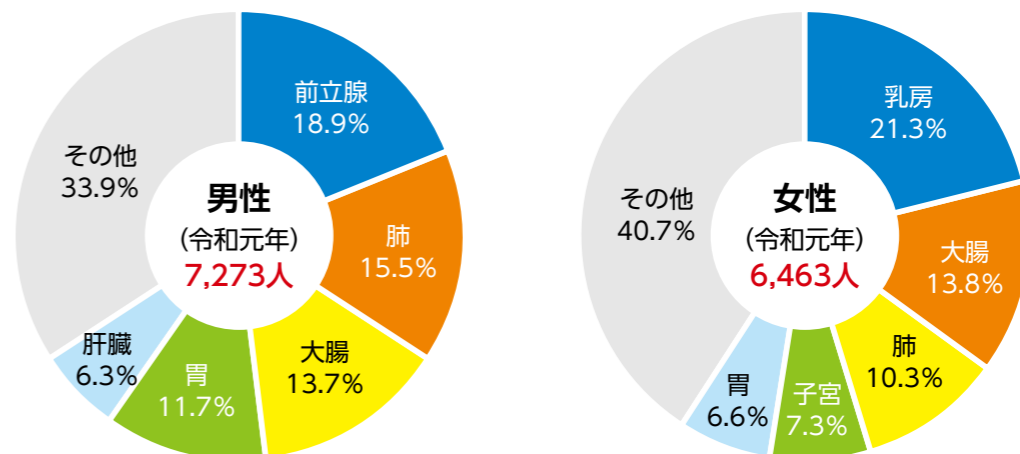
健康アプリ登録方法は役場健康保険課、大津元気づくり活動は役場総合政策課にご相談ください。

あなたの命を守る「がん検診」

~2人に1人が「がん」になり、3人に1人が「がん」で亡くなっています~

●問い合わせ 役場健康保険課 健康推進係(子育て・健診センター内) ☎096(294)1075
国保・医療係 ☎096(293)3114

多くの人がかかるがんの種類(熊本県)



(国立がん研究センター「都道府県別がん罹患データ(2019)」)

がんは、県民の死亡原因の第1位です。男性ががんになる確率は65.5%で、女性ではがんになる確率は51.2%となっており、日本人の2人のうち1人は一生涯のうち何かしらのがんになると言われています(国立がん研究センターがん対策情報センター「がん登録・統計」)。

性別によって発症しやすい部位は異なり、県内では、男性で第1位の前立腺がんや、女性で第1位の乳がん・第4位の子宮がんといった、特有である疾病も見られます。

がんは、元々は生活習慣病と言われており、身近にある発がん性物質(タバコなど)だけではなく、食生活や運動不足でも起こりうる病気であるため「うちはがん家系ではないから大丈夫」と思っている人でも、発症するリスクは十分にあります。がんを予防するための第一歩は、早期発見・早期治療です。

年に一度はがん検診を受けましょう。

たばこを吸う人は肺がんに注意

男性の5割以上、女性の3割弱が喫煙などの生活習慣や細菌などへの感染が原因で肺がんにかかっています。喫煙歴のある40歳以上の人は、特に注意が必要です。また、たばこがなくなると日本人男性のがん死亡全体の約4割が減少すると言われています。

▶ 肺がん検診へ

検査内容 胸部エックス線検査



早期発見で100%近く完治します

食生活の欧米化で大腸がんにかかる人が増えていきます。40歳代から増加し始め、高齢になるほど多くなります。大腸がんは早期に発見できれば、内視鏡的切除や手術などで100%近く完治できることが分かっています。

▶ 大腸がん検診へ

検査内容 便潜血検査(検便)



塩分の強い食生活やピロリ菌感染でリスク2倍!

日本人のがん死亡率第3位である胃がんは、塩分の強い食生活やピロリ菌への感染で胃が炎症を起こし、細胞に異常をきたしてしまうと考えられています。衛生環境の改善でピロリ菌の感染者は減少し始めていると言われています。がん検診と生活習慣の改善が重要です。

▶ 胃がん検診へ

検査内容 胃透視検査



20歳代の子宮頸がんが急増中

子宮頸がんの主な原因は、性交渉により感染する「ヒトパピローマウイルス」です。ウイルスに感染した後に、その一部でがんを発症する場合があります。若い世代もがん検診を定期的に受けることが大切です。

▶ 子宮頸がん検診へ

検査内容 視診+内診+細胞診検査

